

政策分析シート（令和5年度）

政策名	地球環境を守るまちなの実現	政策No	07	部名	環境清掃部		
				部長名	古瀬	内線	480
関連部名	総務企画部、管理部						
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市					
目的	○荒川区を、そして、かけがえのない地球を、よりよいものとして将来の世代へ引き継ぐため、「環境先進都市あらかわ」の実現を「環境区民」の共通の目標として掲げ、協働して環境の保全に取り組む。このため、環境への負荷が少ない省エネルギー・省資源型のライフスタイルへの変換を促進することにより、持続可能な脱炭素社会及び循環型社会の実現を目指す。						

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①	持続可能性	-	3.38	3.35	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？
②	周辺環境の快適さ	-	3.10	3.13	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					

  

標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	区全体のエネルギー消費量 (単位：TJ)	6,485	—	—	6,217	6,079	令和3～5年度は集計中
②	区全体の温室効果ガス排出量 (単位：千t-CO2eq)	657	—	—	568	498	令和3～5年度は集計中
③	区施設温室効果ガス排出量 (百t-CO2)	124	140	133	126	105	「荒川区役所エコアクティブプラン」に基づく
④	区民1人1日当たりの総排出量 (グラム)	795	783	765	759	739	総排出量＝総ごみ量＋資源回収量
⑤	食品ロスの削減 もったいない協力店登録数(店)	142	154	152	160	180	店舗数
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
	給与関係費	670,346	676,778	6,432	地方税等	0	0	0	
	物件費	1,448,603	1,462,249	13,646	国庫支出金	1,305	800	▲505	
	維持補修費	2,917	4,987	2,070	都支出金	11,244	16,828	5,584	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,159,456	1,302,180	142,724	使用料及び手数料	188,774	181,178	▲7,596	
	減価償却費	62,467	60,197	▲2,270	その他行政収入	51,505	102,633	51,128	
	不納欠損・賞引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	252,828	301,439	48,611	
	賞与・退職給与引当金繰入額	135,910	36,803	▲99,107	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲3,226,871	▲3,241,755	▲14,884	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲376	▲340	36	
	行政費用合計(b)	3,479,699	3,543,194	63,495	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲3,227,247	▲3,242,095	▲14,848	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲3,227,247	▲3,242,095	▲14,848	

  

貸借対照表	勘定科目				勘定科目	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
	収入未済	47	17	▲30	流動負債	69,853	67,361	▲2,492	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	36,221	36,257	36	
	有形固定資産	2,358,757	2,349,614	▲9,143	賞与引当金	33,632	31,104	▲2,528	
	土地	1,526,421	1,526,421	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	1,712,068	1,762,501	50,433	固定負債	1,005,979	883,535	▲122,444	
	建物減価償却累計額	▲937,036	▲994,150	▲57,114	特別区債	313,026	276,769	▲36,257	
	工作物等	144,218	144,218	0	退職給与引当金	692,953	606,766	▲86,187	
	工作物等減価償却累計額	▲86,914	▲89,375	▲2,461	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,075,832	950,896	▲124,936	
	建設仮勘定	0	2,830	2,830	正味財産	1,284,320	1,402,292	117,972	
	その他の固定資産	1,348	727	▲621	正味財産の部合計	1,284,320	1,402,292	117,972	
	資産の部合計	2,360,152	2,353,188	▲6,964	負債及び正味財産の部合計	2,360,152	2,353,188	▲6,964	

財務諸表に関する特徴的事項等

○地球温暖化対策や清掃リサイクル事業を行っており、そのうち約4割をごみの収集運搬等に係る物件費が、約3割を清掃一部事務組合に拠出する分担金等にあたる補助費が占めている。  
 ○貸借対照表に計上されている有形固定資産は、エコセンター、尾竹橋施設、リサイクルセンターに関するものである。

## 政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○東日本大震災以降、再エネへの転換やエネルギーの多様化が求められている。また、2015年の国連サミットでは「SDGs」が採択され、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「気候変動に具体的な対策を」などが世界的に取り組むべき環境分野の目標として掲げられている。</p> <p>○区は、令和3年に「ゼロカーボンシティ」を表明し、さらに令和4年度には「荒川区地球温暖化対策実行計画」の改定や「荒川地球温暖化対策推進条例」の制定を行い、脱炭素社会の実現に向けた実効性のある施策に取り組んできた。</p> <p>○区は、地域特性を活かして、全国に先駆けて資源の行政回収を停止し、区民・事業者・区の協働による「あらかわ方式」を確立する等リサイクル先進自治体としての取組を行ってきた。</p>
課題	<p>○環境負荷を軽減していくためには、区民参加が不可欠である。区民一人一人が環境に関心を持ち、正しい知識のもとに環境負荷の軽減に取り組んでもらえるよう、最新の知見に基づく時宜に合った情報提供や啓発活動に取り組む必要がある。</p> <p>○地球温暖化対策の実施に向けては、生活様式の見直しや省エネ行動等を区民により具体的に提示していくとともに、事業者に対するアプローチをさらに充実させていく必要がある。</p> <p>○プラスチック類を中心に資源回収品目の拡大について検討を進めるとともに、荒川区におけるごみの排出状況や資源の分別について区民や事業者にも周知し、資源化とごみの減量をより一層推進する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○地域のコミュニティを生かした、様々な地球温暖化・ヒートアイランド対策を荒川区から発信し、地球環境対策をリードする。</p> <p>○再生可能なエネルギーや資源の活用など持続可能な社会の構築に向けた新たな取組を支援する。</p> <p>○区民の環境に対する意識を高めるとともに、次代を担う子どもたちへの環境教育を推進する。</p> <p>○災害時での活用も想定しながら、地球環境に優しい機器等の導入を推進する。</p> <p>○屋上や壁面など住まいや暮らしの中で工夫を凝らし、地域に花や緑を増やす取組を推進する。</p> <p>○区民、事業者及び行政が一体となって、循環型社会の実現に向けて取り組み、限りある資源の有効活用を図っていく。</p> <p>○総ごみ量の削減に向け、区全体としてプラスチックの使用抑制を更に取り組むとともに、可燃ごみの多くを占める厨芥ごみの減量と食品ロスの削減を一体的に推進する。</p>

## 政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
温暖化対策の推進	重点的に推進	重点的に推進	区は住民に最も身近な基幹自治体として、区民・事業者とともに環境負荷軽減の取組を進め、地域環境と地球環境を守り育む責務がある。「環境先進都市」を目指す荒川区として本施策の重要性は高い。
資源循環型社会の形成	重点的に推進	重点的に推進	区民、事業者と行政が一体となり、3Rの視点に立った、循環型社会の実現を目指す施策を重点的に推進する。
ごみの適正処理の推進	推進	推進	区民の生活環境の保全や、快適な生活の提供のため、更なる廃棄物の適正かつ確実な処理に努める。